



ごみダイエット大作戦 1、2のさんのへ!



夏ごみを減らそう!

夏ごみを減らしましょう

夏は水分の多いくだものや野菜などの重たいごみや、庭の草花、花火、虫よけスプレーなど、一年の中で最もごみの量が増え、悪臭も気になる季節です。ごみの水切りなど、ごみダイエットに取り組みましょう!

【生ごみ】

暑い夏は、水分量の多い生ごみや食べ残し、使い切れなかった野菜などが多くなります。また、夏場の高温で食べ物も傷みやすくなり、食品廃棄が多くなるので「もったいない」の精神で必要な分だけ調理し、食材を無駄にせず最後まで食べきりましょう。

生ごみを出すときは、しっかり水切りを行い、新聞紙などで十分水気をとってからごみにすることで、ごみの臭いと重さを減らすことができます。

【草、葉、花】

夏場は、草花が盛んに成長し、放置すると害虫発生の原因となる場合があるので適正な管理が重要ですが、まとめて草むしりをするとは一度に大量のごみが出てしまいます。雑草が小さいうちに草むしりをする事で、害虫とごみの減量に取り組みましょう。

草花を庭先で処分できず「燃やすごみ」として出すときは、根の土を落とし、十分に自然乾燥させてから、指定袋に入れ、燃やすごみの日に出しましょう。

【花火】

夏といえば花火です。ご家庭などで楽しんだ使用済みの花火や未使用の花火は、収集後に発火しないよう、一度水に浸し乾かしてから、指定袋に入れ燃やすごみの日に出しましょう。



【スプレー缶】

夏は、虫よけスプレーや冷却スプレーなどの使用が多くなります。中身を完全に使い切って穴を開けてから、青色コンテナに入れて燃やさないごみの日に出しましょう。

なお、穴を開けられない場合は、紙袋または買い物袋に入れ、大きく見やすく『スプレー缶』と記入し、青色コンテナの一番上に置いてください。

ルールを守って収集所を利用しましょう

収集所は、利用者が協力して管理を行っています。夏場は特に収集袋からこぼれたごみや、コンテナに付着した飲み残しなどの汚れから、悪臭やカラス被害の原因となることが多くなります。普段から一人ひとりの責任で清潔に保ち、**ごみ出しルールを守って**利用しましょう。

～ごみ出しのルール～

- 収集日の朝8時までに出す。
(前日や時間を過ぎてからは出さない。)
- 燃やすごみ、燃やさないごみ、ペットボトル、びん、紙類に分別して出す。
- ごみ収集所、燃やさないごみ用青色コンテナ、びん用黄色コンテナは常に清潔に保つ。
- 粗大ごみは粗大ごみ処理券を貼って、通行者に支障がないように出す。

集団回収をはじめませんか?

現在、町内では12団体がアルミ缶・スチール缶・びん・紙類の集団回収に取り組んでおります。集団回収とは、自分たちで収集場所を設け、家庭から出る資源物を独自に契約した資源物回収業者に売却し、リサイクルを行うことで、持続的・自主的・主体的に、ごみの減量化と再資源化を図る取組です。

町では、集団回収を始めるため、収集場所を設置する団体へ補助金を交付しております。集団回収は町内会以外でも、任意の団体(グループ)で取り組むことができますので、興味のある人は、役場住民福祉課までお問い合わせください。

問 三戸町役場 住民福祉課 ☎ 20-1151